

# 下館ロータリークラブ会報

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2023-24

第 02645 号 発行日 令和 5 年 10 月 4 日



世界に希望を生み出そう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 本日のプログラム

新入会員卓話

富田良一 会員

## 次週のプログラム

茶例会（最勝寺）

和菓子作り実演

会長／宮田 憲一 副会長／神山 芳子 幹事／堀 江 勤 会長エレクト／宮田 憲一

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール（〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511）

ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール [shimodate@ri2820.jp](mailto:shimodate@ri2820.jp)



前例会報告 第3031回 2023/9/27日(水)

## 来 訪 者 ようこそ下館RCへ

堀江俊一様(下館さくらロータリー衛星クラブ)

## 会 長 挨 拶 宮田 憲一 会長

みなさん、こんにちは。まず、本日のゲストを紹介いたします。下館さくらロータリー衛星クラブの堀江俊一さんです。本日はようこそ。後ほど卓話を頂戴いたします。よろしくお願いいたします。

さて、先週の水曜日は当クラブが後援しています、筑西市少年の主張大会でした。第30回目を迎え下館中学校で開催されました。堀江幹事、潮田青少年奉仕委員長はじめ、早瀬さん、小林さん、塚田さんもお参加くださいました。ありがとうございました。

筑西市少年の主張大会のねらいは、『少年が健やかに成長するためには、自ら社会の一員としての自覚と責任感に目覚め、健康な心身づくりにつとめる他、親をはじめ、少年を育成する立場にあるものは、これら少年の健全な成長を助けるための努力が必要です。そのため、中学生による「少年の主張大会」を開催し、少年が日常生活の中で感じ、あるいは考えていることを広く社会に訴えることにより、同世代の少年がより深く他者や社会との関わりについて考えるきっかけを作るとともに、少年の健全育成に対する地域の方々の理解と関心を高めようとするものです。』とあります。

選ばれた市内七つの中学校、14名の中学生による発表は、どれも中学生らしい柔軟な発想とみずみずしい若さあふれる感性を感じる素晴らしいものでした。

最優秀の筑西市長賞は明野中学校3年の助川大成さん『これから生きる僕たちは』が選ばれ、下館ロータリークラブ会長賞には同じく明野中学校2年の飯島心美さん『先生のとりに立てるように』が選ばれました。

審査委員として初めての経験でしたが、採点する難しさを実感いたしました。大変良い経験をさせていただきました。スケジュールが合えば、受賞者の飯島さんには、ぜひ例会にお越しいただき発表をみなさんにもお聞きいただければ

と思います。

また同日夜には、新井和雄ロータリー情報委員長の呼びかけで、「やまき」にて第2回目の情報委員会が開催されました。

衛星クラブからも4名の参加があり、早瀬パスト会長より『近年の多発する自然災害について』をロータリーの支援活動と交えお話しいただきました。また、新井委員長からは『ウクライナ支援活動』について進捗等をお話しいただきました。

今年度はポスト・コロナという観点からも、改めて委員会活動を活発にしていきたいと思いますので、引き続き、各委員長の皆様にはよろしくお願いいたします。

来月、11日に予定しております『移動例会・茶例会』に先立ち、堀江幹事、永井職業奉仕委員長とともに、筑西市内笹塚の『最勝寺』さんへご挨拶に伺いました。ご住職の渡辺さんにお会いし、当日は寺院の建物やお庭もご案内いただけるということです。

哲学者でもあられるご住職の思想が建物や庭園に表されているということで、ぜひ皆様、楽しみにして頂ければと思います。

会長挨拶は以上となります。

## 幹 事 報 告 堀江 勤 幹事

○配布物 米山記念館 賛助会入会のお願い

○報 告

・奉仕プロジェクトリーグ

10/1 10:30 ホテル日航つくば

・地区大会 大懇親会

11/5 12:50 水戸市民会館

○ガバナー事務所より

・24-25 地区委員推薦のお願い

・24-25 RLIファシリテーター推薦のお願い

○ガバナー補佐より

・ミテラン原稿(母子島遊水地および下岡崎公園)受理

○水戸西RC・水戸南RC・水戸東RCより

・会報 受理

○高梁RCより 創立50周年記念誌 受理

○結城RCより

・ランドセル贈呈事業報告書 受理

○クラブより



- ・趙さんから「奨学生レポート」を受理
  - ・神山カウンセラーより所見を受理
  - ・23-24 地区大会出欠の確認
  - ・赤い羽根共同募金運動
- 10/20 14:30～15:30 たいらや岡芹店

## 会 員 卓 話

下館さくらロータリー衛星クラブ 堀江 俊一 会員

SDGs goal4 の意義について



持続可能な開発目標とは？

持続可能とは、将来の世代のための地球環境や資源が守られ、今の状態が持続できること。開発とは、すべての人が安心して自分の能力を十分に発揮しながら満足して暮らせること。環境や社会が抱える問題にバランスよく取り組み、その根本的な解決によって世界を持続させることを目指しています。

世代を超えたすべての地域の人々が誰一人取り残されることなく尊重される社会を目指しています。

GOAL4になぜ なぜ？ 質の高い教育をみんなに  
基本的教育と識字率向上

ロータリーの7つの重点分野の1つです。平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、地域社会の経済発展、環境そして基本的教育と識字率向上。

9月は基本的教育と識字率向上月間です。基本的教育と識字率向上分野におけるロータリー財団の目標は、

- ・すべての子供のための教育を改善し、子供と成人の識字率を高めるための活動と研修を支援します。
- ・子供たちが質の高い基本的教育を受けられるようにする。

- ・教育における性別格差を縮める。
- ・成人の識字率を高める。
- ・基本的教育と識字率向上を支えていく地域社会の能力を高める。
- ・基本的教育と識字率向上に関連する研究を支援する。

以上のような形で、すべての人々のための教育と識字率向上を推進していきます。

SDGs GOAL4 国連の目標

ロータリー財団の目標

教育という同じ目標です

なぜ？基本的教育と識字率が重視されるのでしょうか？識字率が低いとどうしてダメなのでしょう？文字の読み書きや文章を理解できないと、様々な問題が起きてしまいます。

問題とは？生活に必要な情報を得られない。文字を正しく理解できなければ、予防接種など公的サービスを知らないまま正しく利用できない。選挙などの情報が手に入らず投票できない、政治に参加できない。

他の地域の暮らしを知らずに、今の貧しい生活が当たり前だと思い込む。文字が読めないと情報があっても詐欺や危険な目に遭ってしまいます。地雷や立ち入り禁止エリアなどの警告が理解できない。正しく薬を服用できない。人から聞いた情報が正しいのか判断できない。

識字率が低いことが原因で危険情報を逃してしまい、命を落としてしまうかもしれません。

文字の読み書きができないことによって、貧困から抜け出す機会を逃したり、仕事に必要な技術や能力を身に付けられず、安定した仕事に就くことができません。

文字を使わない仕事に限られるため、単調な仕事や命の危険にさらされる仕事に就かざるを得ない人もいます。つまり、識字率が低い国ほど貧困に陥ってしまい、国における貧困の格差は埋まりません。

ユネスコでは識字率を「日常生活の簡単な内容についての読み書きができる15歳以上の人口の割合」と定義づけています。現在世界には日本の人口の約7倍の7億7,500万人の非識字者がいます。特に女性は非識字率人口の2/3を占めています。発展途上国ほど識字率が低く、先進国ほど識字率が高いです。



日本では識字率は 99.8% であり、残りの 0.2% は知的障害者、言語障害者と言われているが、補助器具による識字を行えば、100% と考えられ、そのため日本では識字率向上に関する関心が極めて低いのが現状です。

SDGs GOAL4「質の高い教育をみんなに」は

男女関係なくすべての子供が平等に質の高い教育を無料で受けられる環境づくりの目標です。識字率アップも目標に含まれます。

識字とは“人間が人間らしく生きていくための基本的条件の 1 つであり、その中でも最も重視すべき要件”です。識字率を上げることが最終的にはポリオ撲滅の手助けになると思います。

発展途上国の抱える問題を知れば、読み書きできない子供や大人が多い理由がわかります。

「文字」の起源は、紀元前 3,200 年頃の西アジアのシュメール人の都市ウルクで使い始められた絵文字だと言われています。

紀元前 3,000 年頃にメソポタミア文明のくさび形文字、エジプトのヒエログリフ(象形文字)などの文字体系が発展し、やがて文字を発明。人類の軌跡は「文字」で記録されることによって、「歴史」となっていきました。

現在世界で使用されている文字の多くは、古代エジプトの聖刻文字(ヒエログリフ)、中国の漢字のどちらかに起源を持ち、聖刻文字と漢字は時代と地域を超えて普及した人類の遺産である。

人類の進化と共に文字は何度も使いやすい形に人間が変化させてきた。火と文字を扱うことができる人間だけです。人間は頭を使い、理解する能力があります。進化した現代の人間が文字を理解できないわけがありません。

では、なぜ識字率が低い国があるのでしょうか。

世界中で非識字率者が多い一番の理由は教育の問題です。特に発展途上国は貧困という大きな問題があります。そういった国で教育を受けられるようにするには、まず学校が必要になります。学校があっても教える先生がいなければなりません。そして教えるためには教材も必要です。また子供たちが安心して通うことができ、衛生教育も受けられるようになるためには、安全な水も必要になります。また、きれいなトイレや手洗い場も必要です。制服も必要ですし、靴を持っていない子供もたくさんいます。考え

れば考えるほど出てきます。

しかし、発展途上国では貧困のため教科書もいき渡らず、制服や文具を買うことも、学校へ通うこともできません。社会生活を送るうえで必要な知識や技能を身に付けることができず、貧困や紛争など、国の理不尽な情勢によって十分な教育を受けることができません。個人の能力ではなく、国や地域の情勢で教育が受けられないのが現状です。

農村部や貧困地域では、教育を受ける学校がありません。ユネスコによると、学校に行けない 6 歳～14 歳の子供が世界に 1 億 2,100 万人いるとされています。

日本の人口と一緒にです。1 番近い学校まで何時間も歩かなければならず、通学を諦める子供は少なくありません。また、学校があっても教える先生がいない問題もあります。

先生を育てる仕組みや先生に払う給料がない、農村地域に行きたいと手を挙げる先生が少ない。このような状況から十分な教育を受けられる環境が整っていない地域があります。学校があっても貧困地域では約 25% の子供達は中退してしまいます。

教育費が払えない、子供が労働力となっている、などの通学ができない理由があります。他に幼い子供を預けるための保育園がない、授業時間を柔軟設定する、文化的に教育が重要視されていない、教育に対して親の理解がない、宗教リーダーや地域リーダーに教育の重要性を強調してもらう、PTA 組織を作るなど解決策や“やらなければならないこと”がたくさんあります。字を読む力はあらゆる学習の基礎になります。低所得国に子供達が基本的な読む力を身に付ければ、1 億 7,100 万人が貧困から抜け出せると推定されます。これは世界の貧困の 12% に相当します。

世界中で非識字率者が多い理由 その 2

紛争や内戦、民族間紛争

この世界には、基本的な識字力がない青少年が 1 億 300 万人もあり、そのうち学校に通っていない初等教育期の児童のうち、推定 50% が紛争の影響下にある地域に住んでいます。戦争や紛争のある地域では学校が閉鎖され、教育が受けたくても受けられません。もともと学校が



あった地域でも戦争や紛争によって壊されたり避難が必要になったりする所もあります。中には少年兵として軍隊に入れられ、教育を受けることが認められない国や地域もあります。子供時代を戦争・紛争で過ごした人は成人になっても非識字者のままです。非識字者から生まれた子供も教育に理解されず、非識字者として戦争のために生きていくでしょう。

人間はいつの時代も戦争ばかり、食べる目的以外で殺し合う愚かな生物です。

紀元前の時代から文字を情報の伝達として使ってきましたが、進化した現代の人間が使うことのできない現実があります。

世界中で非識字者が多い理由 その3

「女性は勉強するものではない」といった女性差別の国や地域も多い。

こうした国や地域では、女性は早く結婚して子供を産むもので、勉強よりも家事や家業を手伝うべきと考えられています。事実、多くの国において女性の方が識字率が低いです。伝統的な女性差別や習慣から、学校に女子トイレがない、貧困のため男兄弟が優先して学校に通う、女子が受ける教育は最低限で良いといった価値観によって、勉強の機会が与えられません。性別に関係なく勉強できる環境を作る必要がある。

なぜ？女子のエンパワメントに力を入れるべきなのでしょうか？

残念ながら世界の非識字者の2/3は女性です。多くの場合、女性は不利な立場に置かれることが多く、女兒と女性是不平等に直面しており、男性よりも高い確率で暴力と貧困に直面しています。

女兒にとって、教育、安全、健康、福利を向上する機会を創出することが、未来を変えるパワーとなるでしょう。

女性が教育を受けることによって変わる事

家庭内での女性の意思決定力が高まり、女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率は66%減少する。読み書きの出来る母親を持つ子供は、読み書きの出来ない母親の子と比べて5歳以上生きる確率が50%増える。

女兒のエンパワメントを通じて地域社会を変えることができます。

女兒への支援で、世界は変わる

①収入が11%向上する

女の子が1年以上初等教育を受けると、その子が将来得る収入が11%増加

②300万人の命が救える

すべての女性が中等教育を修了すれば、5歳未満児の死亡率は約49%減り、1年でおおよそ300万人の命を救える。

③7.3%も収穫高が向上

マラウイでは、女性が教育を受け、男性と同じように農作業の決定に参加できた場合、収穫高が約7.3%向上します。女子中等教育がもたらす社会的・経済的効果は世界銀行による報告では、中等教育を受ける女子の割合が1%上昇すると、国民1人当たりの年収が0.3%増加すると示している。教育の長期的リターンにおける「ジェンダープレミアム」は男性が8.7%、女性が9.8%であり、女性が教育を受けられないことによる経済的損失が大きい。また、女性が特に中等教育を修了することによる効果として、家庭の子供の数のコントロール、乳児死亡率の低下、妊婦と子供の栄養状態改善、女性の労働参加、家庭内の意思決定への参加などが挙げられる。母親の教育水準と乳幼児死亡率の負の相関関係、アフリカ中等教育卒業の母親の乳児死亡率は、小学校卒業の母親と比較して1,000人当たり20人少なく、5歳以下の死亡率も38人少ないという調査結果がある。この理由として、教育を受けた女性は出産行動(出産年齢、頻度)が異なり、より良い育児方法や健康管理(病気予防)を積極的に採用することが指摘されている。女性の中等教育が、家族の健康や経済発展に重要な貢献をすると考えられる。

途上国における女子中等教育の阻害要因として、  
①貧困 ②教育コスト ③学校設備の不足(学校の数) ④教師による体罰 ⑤学校でのジェンダーに基づく差別 ⑥教育の質の低さ ⑦女性教師、ロールモデルの不足 ⑧親の意識、社会規範(早期婚) ⑨若年出産 ⑩紛争

少女たちが質の高い教育を受けられるように支援することで、経済的自立、食料安全保障、レジリエンス(立ち直る力)、環境の持続可能性、全人類のためのより良い世界を実現させること



ができます。

男性には攻める戦うという本能がありますが、女性には守るという本能があります。子供を授かり、命がけで産んで、育てるという優しさ、温かさがあります。女性には男にはできない発想もあり、もし女性が国のリーダーだったら、今までの戦争や紛争はないものもあったと思います。きっと弱者を守るリーダーだったでしょう。

国の為、自国の領土拡大のため、殺し合い、女性、子供の命、生活を奪うものに栄光の未来はありません。女性子供が幸せでなければ、その国や地域の発展は絶対にありえないと思います。平等とは、平和で豊か、かつ持続可能な世界を築くために必要となる基本的人権です。

元気で長生きし、必要な収入を得て、知りたい知識を習得し、自分で選んだ道を歩める創造的な人生であること。

以上、ニーズは山積みですが、同じ星に住む人間として一緒に取り組むべき課題だと思えます。持続可能な良い変化を生むために人々が手を取りあって行動する世界を目指しましょう。たまたまこの時代、この場所に生まれて何不自由ない暮らしが出来るのは運がいいだけです。助けてあげるという上から目線ではなく、助け合うのが当たり前、同じ地球に生まれた人間です。

我々先進国には、手を差し伸べる責任があります。日本が戦後の焼野原からいち早く発展を遂げたのは教育の力です。きっと全世界のみんなも出来る。ロータリーの使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

#### 人間の安全保障

命、暮らし、誰もが人間らしく生きる尊厳を守る。自分のことだけでなく、他人のことも考える。最も弱い人々の保護と能力強化、誰もが安全に人間らしく生きるために、今できるベス

トを尽くす。

貧困、紛争、宗教問題、女性差別、学校や先生がいらない等環境問題も含め、多くの問題を掲げながら、世界各地のロータリアンは精力的にこの問題に取り組んでいます。

我々は、この機会に現状を把握して、今の自分にできることは何かを考えてみてはいかがでしょうか？

世の中で一番尊いことは、人のために奉仕して決して恩にきせないことです。

## スマイルBOX

富田良一 委員

▶宮田 憲一さん 本日は堀江さんの卓話 大変楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。

▶堀江 勤さん 今月はロータリー月間です。堀江会員 卓話楽しみにしています。

▶新井 和雄さん 堀江俊一会員の卓話を楽しみにしていました。

▶潮田 武彦さん 下館さくらロータリー衛星クラブ 堀江俊一会員の卓話 楽しみにしました。本日は宜しくお願いします。

▶永井 啓一さん 堀江さんの卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。

▶松浦 真也さん 堀江俊一さん、本日は宜しくお願いします。

▶鈴木 健一さん 下館JC 谷島理事長、石塚専務理事、本日は、ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみです。

神山さん、お帰りなさい。お元気そうで安心しました。

本日の合計 12,000 円 累計 167,000 円

## 出席報告

| 会員数 | 出席数 | 欠席数 | 病欠 | 免除 |
|-----|-----|-----|----|----|
| 20  | 12  | 3   | 1  | 4  |



## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。